

# 燃料費高騰の是正を求める11.14中央総決起集会

「交通運輸産業の活性化に向けて燃料費高騰に関わる助成金の確立と自動車関係諸税の負担軽減、さらにトリガー条項の解除凍結を政府に求めるため、交通労協に結集する全国65万人が一丸となつて要求実現に向けて闘う！」

2014年11月14日(金) 18時、日比谷公会堂にて「燃料費高騰是正を求める11.14中央総決起集会」が開催されました。ハイタク関係からは全自交労連をはじめ、交通労連ハイタク部会、私鉄総連ハイタク協議会傘下の組合員が参加をしました。東洋交通労組からは菊池委員長をはじめ、執行委員7名が参加しました。

民主党の海江田代表は、総選挙に向けて準備中のマニフェストにトラック運送事業者の省エネ支援、地方バス路線の助成、タクシ事業者のためのLPGと燃料価格引き下げを柱とした施策を加えると宣言しました。社民党の吉田党首は、「トリガー条項ではガソリンの平均価格が3ヶ月連続で160円を超えた場合、25.1円の暫定税率を解除することになっているが、東日本大震災復興に必要だとして凍結したままだ。被災地でも燃料費高騰には困っており、解除をという声もある。この声に応える取り組み、支援を強化していく」と述べました。

本集会を契機に、「安全・安心、人と環境にやさしい輸送サービスの提供を行うこと」「地方の再生と同時に、地域公共交通の維持・活性化に取り組むこと」と集会宣言をし、団結ガンバローで閉会しました。

19時10分より全日本トラック協会、日本バス協会、全国ハイヤー・タクシ連合会の組合員約1000名が動員し、民主党と社民党に対する請願行動を行いました。

## 燃料費高騰の是正を求める11.14中央総決起集会

全日本交通運輸産業労働組合協議会(交運労協)

我が国の基幹インフラである、  
物流・公共交通を守ろう!



### 日本交通グループ連絡協議会 第9回総会

2014年11月15日(土) 13時、東洋交通2階大会議室にて第9回日本交通グループ連絡協議会総会が開催されました。大松副議長(ライオン交通労組)より開会の挨拶、大和田副議長(日交労)より議長・書記の選出が行われました。議長には石井幹事(東洋交通労組)、書記には星代議員(日交労)が選出されました。

続いて福島議長(東洋交通労組)の挨拶があり、「経営側から『初乗り距離短縮運賃』の導入を検討していることが報道されています。特に川鍋社長は、全体がやらなくても日本交通グループだけでもやると言っています。東京で導入されれば、營收が減りタクシ労働者の賃金・労働条件が悪化すること

が明確です。2キロで換算すれば全国で沖縄・大阪に次いで下から3番目に安い運賃を、引き下げる方法は絶対に容認できません。『初乗り距離短縮運賃』の導入に反対する運動が必要です。また、同一労働・同一賃金を目指して統一要求を実現できるように今後も運動を進めていきます」と述べました。

伊藤顧問(日交労)の挨拶では、協議会の立ち上げから中心となつて支えてくれた昨年5月に亡くなられた小林氏(春駒共済会顧問)に全員で黙祷を捧げました。「政治課題については安倍政権の平和に対する物事の考え方、働く者に対しての目の向け方については非常に問題があります。私たちの生活を変えていくには政治を変えていかなければなりません。選挙の際には是非投票に足を運んで頂きたい」と述べました。

溝上事務局長(日交労)より2014年度活動報告・会計報告・会計監査報告が行われ、続いて2015運動方針(案)・2015予算(案)・規約改正(案)・2014秋闘要求(案)・新役員(案)が読み上げられ、満場一致で承認されました。

#### 2014秋闘統一要求

- 1、車両代替は最長でも6年または60キロとすること
- 2、スタッドレスタイヤを全輪に装着すること

以上2点について2014年12月15日までに回答を求めるとなりました。

今後も各組織の強化を行い、未組織への加盟を働きかけ、賃金・労働条件の改善に向けて運動を進めていくことを確認し、閉会となりました。



福島議長

伊藤顧問

(右)溝上事務局長  
(下)日交グループ各  
組織の代表の方々

### 2014年度第10回合同宣伝行動

11月18日(火) 8時40分〜10時 全自交東京地連(東京地連1名・日交労赤羽支部6名・ライオン交通労組2名・東洋交通労組12名)合同宣伝行動を東京駅で行いました。通行人にはテッシュを配布し、乗務員には全自交のビラを配布しました。乗り場の清掃も行い、タクシをご利用のお客様にはドアサービス、ラゲッジサービスを行いました。

